



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4503 URL <https://www.astellas.com/jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 安川 健司  
 問合せ先責任者（役職名） 広報部長 （氏名） 緒方 ステイグ (TEL) 03(3244)3201  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	650,470	0.5	162,196	27.9	161,584	25.9	128,527	23.7	128,527	23.7	74,581	△50.4
2019年3月期第2四半期	647,096	1.1	126,842	32.0	128,298	26.7	103,867	26.5	103,867	26.5	150,222	△8.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	68.16	68.10
2019年3月期第2四半期	53.20	53.14

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,979,816	1,296,135	1,296,135	65.5
2019年3月期	1,897,648	1,258,396	1,258,396	66.3

### 2. 配当の状況

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,256,000	△3.9	263,000	7.8	263,000	5.6	210,000	△5.5	210,000	△5.5	111.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,256,000	△3.9	264,000	△5.2	214,000	△14.2	113.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料P.2に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期第2四半期	1,888,823,175株	2019年3月期	1,979,823,175株
② 期末自己株式数	2020年3月期第2四半期	3,393,522株	2019年3月期	93,986,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期第2四半期	1,885,803,749株	2019年3月期第2四半期	1,952,409,113株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.9をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2019年10月31日（木）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	1 1
(1) 要約四半期連結純損益計算書 .....	1 1
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	1 2
(3) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	1 3
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	1 5
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	1 7
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	1 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	1 8
(会計方針の変更) .....	1 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### <連結業績（コアベース<sup>(注)</sup>）>

当第2四半期（2019年4月1日から9月30日）の連結業績（コアベース）は下表の通りです。売上収益、コア営業利益、コア四半期利益はいずれも増加しました。

#### [連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2019年3月期)	当第2四半期 (2020年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	647,096	650,470	+3,374 (+0.5%)
売上原価	143,539	138,872	△4,667 (△3.3%)
販売費及び 一般管理費	231,530	226,067	△5,463 (△2.4%)
研究開発費	99,566	104,974	+5,409 (+5.4%)
無形資産償却費	17,668	11,200	△6,468 (△36.6%)
持分法による投資損益	△602	△1,405	△803 (-)
コア営業利益	154,191	167,951	+13,761 (+8.9%)
コア四半期利益	124,790	135,903	+11,113 (+8.9%)
基本的1株当たり コア四半期利益(円)	63.92	72.07	+8.15 (+12.8%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

### 【売上収益】

売上収益は6,505億円（前年同期比0.5%増）となりました。

- ・ 過活動膀胱（OAB）治療剤ベシケア、抗がん剤タルセバの独占販売期間満了による影響を受けましたが、主力製品の売上拡大や新製品の伸長により増収となりました。
- ・ 前立腺がん治療剤 XTANDI／イクスタンジ、OAB 治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベツトミガの売上が引き続き拡大したほか、2018年12月に日本と米国で発売したFLT3 阻害剤ゾスパタが増収に寄与しました。
- ・ また、2019年3月に発売した骨粗鬆症治療剤イベニティをはじめ、日本の新製品群が伸長しました。

### 【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は5,116億円（同1.6%増）となりました。売上原価率は、未実現利益の消去に係る為替の影響等により前年同期に比べ0.8ポイント低下し、21.3%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、2,261億円（同2.4%減）となりました。XTANDIに係る米国での共同販促費用が売上拡大に伴い増加したことに加え、新製品立ち上げのための必要な投資を行う一方で、経費の効率的な使用やリソース配分の最適化等を推進しました。また、当第2四半期においては損失評価引当金の戻入れによる一過性の費用減少要因がありました。
- ・ 研究開発費は、1,050億円（同5.4%増）となりました。重点後期開発品や新たな領域・技術への投資拡充に伴う費用等が増加しました。売上収益研究開発費比率は、前年同期に比べ0.8ポイント増加し、16.1%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、112億円（同36.6%減）となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,680億円（同8.9%増）、コア四半期利益は、1,359億円（同8.9%増）となりました。

### 【為替の業績への影響】

当第2四半期の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、前第2四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては184億円の減少、コア営業利益においては7億円の減少の影響がありました。

期中平均レート	前第2四半期	当第2四半期	変動
米ドル/円	110	109	2円高
ユーロ/円	130	121	8円高

期首・期末の変動	前第2四半期	当第2四半期
米ドル/円	7円安	3円高
ユーロ/円	2円安	7円高

## <連結業績（フルベース）>

当第2四半期の連結業績（フルベース）は下表の通りです。売上収益、営業利益、税引前四半期利益、四半期利益はいずれも増加しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」（減損損失、為替差損等）等が含まれます。

「その他の収益」は、為替差益を計上したことなどから72億円（前年同期：47億円）となりました。また、「その他の費用」は、130億円（同：320億円）となりました。選択的ニューロキニン3（NK3）受容体拮抗薬 fezolinetant の開発が第Ⅲ相試験段階に入ったことに伴い、開発の進捗に応じて支払う Ogeda 社の旧株主への条件付対価の公正価値が増加したため、その増加分を「その他の費用」として第1四半期に計上しました。

### [連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2019年3月期)	当第2四半期 (2020年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	647,096	650,470	+3,374 (+0.5%)
営業利益	126,842	162,196	+35,354 (+27.9%)
税引前四半期利益	128,298	161,584	+33,285 (+25.9%)
四半期利益	103,867	128,527	+24,661 (+23.7%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	53.20	68.16	+14.96 (+28.1%)
四半期包括利益	150,222	74,581	△75,641 (△50.4%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第2四半期 (2019年3月期)	当第2四半期 (2020年3月期)	増減率
XTANDI／イクスタンジ	1,640	1,950	+18.9%
ゾスパタ	—	57	—
ベタニス／ミラベトリック ／ベットミガ	686	788	+14.9%
ベシケア	481	251	△47.9%
プログラフ*	1,004	962	△4.2%

\*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

◇ XTANDI／イクスタンジ

- ・売上は1,950億円（前年同期比18.9%増）となりました。日本、米国、エスタブリッシュドマーケット\*1、グレーターチャイナ\*2及びインターナショナル\*3の全ての地域で売上が拡大しました。

◇ ゾスパタ

- ・2018年12月に日本、米国で発売したゾスパタの売上は57億円となりました。

◇ 泌尿器 OAB 製品

- ・ベタニス／ミラベトリック／ベットミガの売上は788億円（同14.9%増）となりました。全ての地域で売上が増加しました。また、ベシケアの売上は、米国及び欧州での独占販売期間満了に伴う後発医薬品発売の影響を受け、251億円（同47.9%減）となりました。

◇ プログラフ

- ・売上は962億円（同4.2%減）となりました。グレーターチャイナで伸長しましたが、その他の地域の売上が減少しました。

◇ その他の主要製品・新製品の状況

- ・ 日本では、**スーグラ**と**スー ज्याヌ**配合錠を合わせた2型糖尿病治療剤のほか、高コレステロール血症治療剤**レパーサ**、慢性便秘症治療剤**リンゼス**等の売上が引き続き拡大しました。また、2019年3月に発売した**イベニティ**の売上が増収に貢献しました。
- ・ 米国では、アゾール系抗真菌剤**クレセンバ**等の売上が拡大しました。

\*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

\*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

\*3 インターナショナル：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表の通りです。日本及び米国等が増加しました。一方で、エスタブリッシュドマーケットは為替の影響を受けて減少しましたが、その影響を除くと増加しました。

(単位：億円)

	前第2四半期 (2019年3月期)	当第2四半期 (2020年3月期)	増減率
日本	1,807	1,833	+1.5%
米国	2,079	2,167	+4.2%
エスタブリッシュド マーケット	1,496	1,467	△1.9%
グレーターチャイナ	293	294	+0.4%
インターナショナル	632	634	+0.3%



## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末(2019年9月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

#### 【資産】

当第2四半期末における総資産は1兆9,798億円(前期末比822億円増)となりました。

<非流動資産>当第2四半期末:1兆1,242億円(同837億円増)

- ・ のれんは2,194億円(同65億円減)、無形資産は4,323億円(同26億円増)となりました。
- ・ IFRS第16号「リース」の適用により、当期首に使用権資産を831億円追加で認識したことに伴い、有形固定資産は2,547億円(同812億円増)となりました。

<流動資産>当第2四半期末:8,556億円(同16億円減)

- ・ 現金及び現金同等物は3,114億円(同3億円増)となりました。

#### 【資本】

資本合計は、1兆2,961億円(同377億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は65.5%となりました。

- ・ 四半期利益1,285億円を計上した一方で、剰余金の配当358億円を実施しました。
- ・ 在外営業活動体の外貨換算差額が資本の減少方向に465億円変動しました。
- ・ なお、2019年5月に自己株式の消却1,596億円(9,100万株)を実施しました。

#### 【負債】

負債の合計は、6,837億円(同444億円増)となりました。

<非流動負債>当第2四半期末:2,001億円(同585億円増)

- ・ IFRS第16号「リース」の適用により、当期首にリース負債を755億円追加で認識したことに伴い、その他の金融負債は1,205億円(同676億円増)となりました。

<流動負債>当第2四半期末:4,836億円(同140億円減)

- ・ IFRS第16号「リース」の適用により、当期首にリース負債を169億円追加で認識したことに伴い、その他の金融負債は454億円(同313億円増)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,017億円（前年同期比104億円減）となりました。

### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△466億円（同388億円支出増）となりました。

### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△460億円（同905億円支出減）となりました。

- ・ 配当金の支払額は358億円（同3億円増）となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,114億円（前期末比3億円増）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2020年3月期）の通期連結業績予想は下表の通りです。

#### [通期連結業績予想（コアベース）]

(単位：百万円)

	2020年3月期 期初予想	2020年3月期 修正予想	差異	2019年3月期 通期実績
売上収益	1,224,000	1,256,000	+32,000	1,306,348
研究開発費	211,000	216,000	+5,000	208,682
コア営業利益	240,000	264,000	+24,000	278,514
コア当期利益	194,000	214,000	+20,000	249,343
基本的1株当たり コア当期利益(円)	102.87	113.49	+10.62	129.07

#### [通期連結業績予想（フルベース）]

(単位：百万円)

	2020年3月期 期初予想	2020年3月期 修正予想	差異	2019年3月期 通期実績
売上収益	1,224,000	1,256,000	+32,000	1,306,348
営業利益	229,000	263,000	+34,000	243,912
税引前利益	230,000	263,000	+33,000	248,967
当期利益	182,000	210,000	+28,000	222,265
基本的1株当たり 当期利益(円)	96.51	111.37	+14.86	115.05

当第2四半期累計期間の状況及び為替の動向を踏まえ、2019年4月に公表しました業績予想（以下、期初予想）を修正しました。コアベースの業績予想は、売上収益、コア営業利益及びコア当期利益を上方修正しています。なお、想定為替レートを変更したことにより、期初想定の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益は279億円の減少、コア営業利益は70億円の減少となる見込みです。

売上収益は1兆2,560億円（期初予想から320億円の上方修正）を予想しています。XTANDI/イクスタンジ、プログラフ等のほか、イベニティをはじめとする日本の新製品群の売上が期初予想を上回る見通しです。

販売費及び一般管理費は、XTANDIに係る米国での共同販促費用が増加する見込みですが、為替の影響等により期初予想を下回る見通しです。また、研究開発費は重点後期開発品に関わる費用等の増加により期初予想を上回る見通しです。

以上の結果、当期のコア営業利益、コア当期利益は、それぞれ2,640億円（期初予想から240億円の上方修正）、2,140億円（期初予想から200億円の上方修正）を予想しています。

フルベースの業績予想は、コアベースの業績予想修正に加え、当第2四半期累計期間に計上した「その他の収益」及び「その他の費用」並びに今後の発生見込み等を踏まえ、営業利益、税引前利益及び当期利益を上方修正しています。

**[通期の想定為替レート]**

2020年3月期（想定）：108円/米ドル、120円/ユーロ

（第3四半期以降の想定為替レート：108円/米ドル、118円/ユーロ）

2019年3月期（実績）：111円/米ドル、128円/ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	647,096	650,470
売上原価	△143,539	△138,872
売上総利益	503,557	511,597
販売費及び一般管理費	△231,530	△226,067
研究開発費	△99,566	△104,974
無形資産償却費	△17,668	△11,200
持分法による投資損益	△602	△1,405
その他の収益	4,697	7,248
その他の費用	△32,045	△13,004
営業利益	126,842	162,196
金融収益	2,106	1,336
金融費用	△650	△1,949
税引前四半期利益	128,298	161,584
法人所得税費用	△24,432	△33,056
四半期利益	103,867	128,527
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	103,867	128,527
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	53.20	68.16
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	53.14	68.10

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	103,867	128,527
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	7,847	△6,917
確定給付制度の再測定	461	△577
小計	8,308	△7,494
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	38,048	△46,452
小計	38,048	△46,452
その他の包括利益	46,356	△53,946
四半期包括利益合計	150,222	74,581
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	150,222	74,581

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	173,483	254,707
のれん	225,864	219,365
無形資産	429,707	432,338
売上債権及びその他の債権	25,248	33,404
持分法で会計処理されている投資	3,653	4,916
繰延税金資産	92,958	91,966
その他の金融資産	81,457	77,201
その他の非流動資産	8,121	10,321
非流動資産合計	1,040,489	1,124,219
流動資産		
棚卸資産	151,511	148,036
売上債権及びその他の債権	342,628	335,773
未収法人所得税	20,113	17,898
その他の金融資産	2,607	19,957
その他の流動資産	25,080	22,565
現金及び現金同等物	311,074	311,367
小計	853,012	855,596
売却目的で保有する資産	4,147	—
流動資産合計	857,159	855,596
資産合計	1,897,648	1,979,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資本及び負債</b>		
<b>資本</b>		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,301	177,163
自己株式	△164,629	△5,554
利益剰余金	991,957	924,739
その他の資本の構成要素	150,767	96,787
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,258,396	1,296,135
資本合計	1,258,396	1,296,135
<b>負債</b>		
<b>非流動負債</b>		
仕入債務及びその他の債務	1,572	2,966
繰延税金負債	5,175	4,890
退職給付に係る負債	40,163	40,090
引当金	5,416	2,968
その他の金融負債	52,882	120,509
その他の非流動負債	36,379	28,632
非流動負債合計	141,587	200,055
<b>流動負債</b>		
仕入債務及びその他の債務	185,280	160,333
未払法人所得税	17,587	27,973
引当金	22,843	14,862
その他の金融負債	14,136	45,429
その他の流動負債	255,913	235,029
小計	495,759	483,626
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	1,906	—
流動負債合計	497,665	483,626
負債合計	639,252	683,681
資本及び負債合計	1,897,648	1,979,816



(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2018年4月1日残高	103,001	177,219	△135,951	976,076	1,477	128,179
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した 2018年4月1日残高	103,001	177,219	△135,951	976,076	1,477	128,179
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	103,867	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	38,048
四半期包括利益合計	—	—	—	103,867	—	38,048
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△100,439	—	—	—
自己株式の処分	—	△281	607	△229	△96	—
自己株式の消却	—	—	130,419	△130,419	—	—
配当金	—	—	—	△35,571	—	—
株式報酬取引	—	183	—	—	—	—
振替	—	—	—	453	—	—
所有者との取引額合計	—	△99	30,587	△165,765	△96	—
2018年9月30日残高	103,001	177,120	△105,364	914,177	1,381	166,227
2019年4月1日残高	103,001	177,301	△164,629	991,957	1,127	125,656
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	128,527	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△46,452
四半期包括利益合計	—	—	—	128,527	—	△46,452
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△1,187	—	—	—
自己株式の処分	—	△313	681	△247	△120	—
自己株式の消却	—	—	159,581	△159,581	—	—
配当金	—	—	—	△35,831	—	—
株式報酬取引	—	175	—	—	—	—
振替	—	—	—	△86	—	—
所有者との取引額合計	—	△138	159,075	△195,745	△120	—
2019年9月30日残高	103,001	177,163	△5,554	924,739	1,007	79,204

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	その他の資本の構成要素				合計	
	売却可能 金融資産の 公正価値の 変動	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付制度 の再測定	合計		
2018年4月1日残高	18,289	—	—	147,945	1,268,289	1,268,289
会計方針の変更による累積的影響額	△18,289	18,289	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した 2018年4月1日残高	—	18,289	—	147,945	1,268,289	1,268,289
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	—	103,867	103,867
その他の包括利益	—	7,847	461	46,356	46,356	46,356
四半期包括利益合計	—	7,847	461	46,356	150,222	150,222
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△100,439	△100,439
自己株式の処分	—	—	—	△96	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	△35,571	△35,571
株式報酬取引	—	—	—	—	183	183
振替	—	7	△461	△453	—	—
所有者との取引額合計	—	7	△461	△549	△135,826	△135,826
2018年9月30日残高	—	26,143	—	193,751	1,282,685	1,282,685

2019年4月1日残高	—	23,984	—	150,767	1,258,396	1,258,396
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	—	128,527	128,527
その他の包括利益	—	△6,917	△577	△53,946	△53,946	△53,946
四半期包括利益合計	—	△6,917	△577	△53,946	74,581	74,581
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△1,187	△1,187
自己株式の処分	—	—	—	△120	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	△35,831	△35,831
株式報酬取引	—	—	—	—	175	175
振替	—	△491	577	86	—	—
所有者との取引額合計	—	△491	577	△34	△36,842	△36,842
2019年9月30日残高	—	16,576	—	96,787	1,296,135	1,296,135

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	128,298	161,584
減価償却費及び無形資産償却費	31,845	31,146
減損損失(又は戻入れ)	7,574	83
金融収益及び金融費用	△1,456	613
棚卸資産の増減額	3,638	△4,583
売上債権及びその他の債権の増減額	5,689	△6,945
仕入債務及びその他の債務の増減額	△11,423	△24,507
その他	△11,451	△37,201
小計	152,713	120,189
法人所得税の支払額	△40,626	△18,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,086	101,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,142	△16,562
有形固定資産の売却による収入	14,574	77
無形資産の取得による支出	△9,857	△15,819
子会社の取得による支出	△1,426	△5,078
利息及び配当金の受取額	1,420	1,267
その他	△3,343	△10,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,773	△46,553
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△100,439	△1,187
親会社の所有者への配当金の支払額	△35,571	△35,831
リース負債の返済による支出	—	△8,199
その他	△465	△739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,474	△45,956
現金及び現金同等物の為替変動による影響	7,297	△8,857
現金及び現金同等物の増減額	△24,864	293
現金及び現金同等物の期首残高	331,731	311,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	306,867	311,367

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しています。

当社グループは、第1四半期連結会計期間から、以下の基準を適用しています。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースに関する会計処理の改訂

IFRS第16号の適用にあたり、契約がリース又はリースを含んだものであるかどうかを適用開始日現在で見直さない実務上の便法を適用しています。また、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

当社グループは、契約時に契約がリース又はリースを含んだものであるかどうかを、契約の実質に基づき判断しています。リース期間は、解約不能期間に延長するオプションと解約するオプションを加えて決定していますが、適用開始日においては、事後的判断も使用しています。特性が合理的に類似したリースのポートフォリオには単一の割引率を使用しています。短期リース及び原資産が少額であるリースについては、使用権資産とリース負債を認識せず、当該リースに関連したリース料をリース期間にわたり費用として認識する場合があります。

① 使用権資産

使用権資産は、リース開始日時点のリース負債の当初測定額に、発生した当初直接コスト等を調整した取得原価で測定しています。

開始日後は、使用権資産の耐用年数又はリース期間のいずれか短い方の期間にわたり、定額法で減価償却しています。

② リース負債

リース負債は、リース開始日時点で支払われていないリース料をリースの計算利率を用いて割り引いた現在価値で当初測定しています。リースの計算利率を容易に算定できない場合には、追加借入利率を使用しています。

開始日後は、リース負債に係る金利を反映するように帳簿価額を増額し、支払われたリース料を反映するように帳簿価額を減額し、リース負債の見直しやリースの条件変更等に伴って必要に応じて再測定しています。

IFRS第16号の適用により、要約四半期連結財政状態計算書において、適用開始日に使用権資産として「有形固定資産」を83,061百万円、リース負債として非流動負債及び流動負債の「その他の金融負債」をそれぞれ75,455百万円、16,859百万円追加で認識しています。その他の資産及び負債への重要な影響はありません。利益剰余金期首残高への影響はありません。要約四半期連結純損益計算書への重要な影響はありません。要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、従来、営業活動によるキャッシュ・フローに分類していたリース料を、主に、財務活動によるキャッシュ・フローとして分類しています。